

学級活動 指導案

1 題材名

「学級目標を達成させよう

～学級目標に近づくための 6の〇 オリジナルルールをつくろう！～

2 題材設定の理由

○ 本学級の児童は、明るく、元気で前向きである。最高学年として、1年生をはじめとした下学年のお世話を積極的に行ったり、男女を問わず困っている友達がいたら手助けしたりする優しさもある。新学期スタートの際に決定した学級目標は卒業の時の自分たちの姿をイメージし、全員の思いを込めて「〇〇小のリーダー6の〇 明るく楽しく元気よく 一人一人が支え合って 本当の感動を味わおう」に決定した。5月に行われた運動会では、5・6年の組体操のテーマを「絆」とし、個人技や2人技などができていない友達をみんなで励ましあいながら成功に向けて取り組み、全員で支え合って成功させたという経験もしてきている。

しかし、運動会などの行事を受け、一時的に盛り上がり達成感を味わうことはできるが、行事が終わると無関心になってしまう傾向や日常的にやらなければならない活動に責任を持ってない、苦手なことからは逃げてしまうという課題がある。また、全員で決めた学級目標についても、達成したいという意識がまだ十分でなく、具体的に達成するためにどのようなことに取り組んでいけばよいかという課題意識も少ない。

○ 本題材は、学級の中にある諸問題に気付かせ、学級目標を達成させるために、自分もしくはグループや学級全員で取り組み、互いに信頼し支え合いながら居心地よく楽しくすごせるようにしたいという意欲をルール作りのサイクルとして定着させていくことをねらいとしている。ルールを考える段階（事中）では、協調性や人権尊重の力を、ルールを実践・見直しをしていく段階（事後）では責任感や規範意識の力を高めていきたいと考えている。こういったルール作りのサイクルを繰り返すことにより、児童一人一人が学級目標や諸問題について真剣に考え、集団生活において自分の意見だけを押し通すのではなく折り合いをつけながら生活していくことの大切さを実感できると考える。このような他者とのかかわりを通して、社会性の4つの観点（協調性、責任感、規範意識、人権尊重）をバランスよく高めていくことは、学級集団のよりよい人間関係を築いていく上で意義深い。

○ 指導にあたっては、まず、事前の活動で学級目標についてのアンケートをとり、児童がどのようなことを問題点としてとらえているか実態把握を行う。次に道徳の時間において、「規則の尊重」の観点での学習を行い、ルールを守ることの大切さや規則やきまりの意義について考えさせる。

事中の活動では、事前のアンケート調査の結果を提示することにより実践の意欲付けと必要性を喚起させていきたい。その際、調査結果と原因の究明・ルールの条件の提示について、本題材の起点となるものであるから問題意識をはっきりとつかめるようにしたい。

事後の活動では、1週間程度の試行実践を行い、帰りの会でふり返りを行い、よかった点やよくなかった点を出させ、記録させていく。1週間後に今度は計画委員会による学級会の時間（学級活動（1））を持ち、反省点や課題からルールの見直しを行い、「一人一人が支え合う」改善されたルールとなるようにつなげさせたい。また、本題材の取り組みを学校生活の他の観点にも応用していけるように他の場面でも活動をつなぎ、本題材で身につけたルール作りのサイクルを生かして社会性や自主性を育てていきたい。

3 目標

- 学級目標の達成に向けて、学級の課題について進んで話し合いに参加したり、自分やグループ、学級全体でできることを考えたりすることができる。（関心・意欲・態度）
- 学級の課題をもとに、具体的で実現可能なルールを考えたり、見直したりできる。
（思考・判断）
- 学級で決まったルールを自分のこととして受け止め、ルールを守ろうとすることができる。（表現・技能）
- よりよい学級となるために、ルールを遵守し、実践することの意義がわかる。
（知識・理解）

4 指導計画

過程	児童の活動	指導上の留意点	日時
事前	1 学級目標についてのアンケート①を行う。	○ 学級目標の達成率とその理由を問う。達成するために今必要なことを問う。	6月14日（月）
	2 学級目標についてのアンケート②を行う。	○ アンケート①の結果を受けて学級目標で一番達成せたいところと達成のための方法を問う。	6月16日（水）
	3 道徳の時間において、「規範意識」についての学習をする。	○ 規則やきまりの意義について考えさせる。（規範意識の意識化）	6月22日（火）
事中	題材名「「学級目標を達成させよう～学級目標に近づくための 6の○オリジナルルールをつくらう！～」 1 一人一人が支え合える学級にするため、給食時間に取り組めるルールをつくる。	○ 課題意識を持たせ、ルール作りの意義を理解させるために、事前アンケートの結果を掲示する。 ○ 作ったルールの成果をあげたり、見直しをしたりする際、改善点に気づきやすいようにするために、個人やグループ単位で取り組みを確認できるルールを作っていくようにする。 ○ 決定したルールは掲示する。	6月24日（木） 5校時
	1 ルールを実践する。（試行期間）	○ 1週間の試行期間を設け、個人やグループ単位で取り組んだルールをふり返られるようにカードを用意する。	6月25日（金） ～ 7月2日（金）
事後	2 計画委員会を中心に学級会を開き、ルールの見直しを行い、ルールを精選したり、新たな内容を加えたりする。	○ ルールが決定しても、常に議題箱を活用した見直しの作業を計画委員とともに進めていく。	7月2日（金） 5校時

5 本時

本時 平成22年6月24日（木） 第5校時 第6学年○組教室

(1)ねらい

- 学級目標の達成をめざし、給食時間についての問題点を改善しようという意識をもち、進んで解決しようとしている。（関心・意欲・態度）
- ルール作りの条件について理解し、友だちの考えのいいところも取り入れながら学級に必要なルールについて考えることができる。（思考・判断）

